

あそびがいっぱい 子どもあそびフェスタ

「こどもあそびフェスタ」(主催伊達レクリエーション協会虻田支部)が5月14日、母子の館体育館で開催され、約40人の子も達が、普段経験しないいろんな遊びを体験しました。

今年もツイスターゲームや竹割り、けん玉などの昔のゲームからポケネット、モノフリングなどの現代ものまで10種類以上が用意され、子ども達は、それぞれ自分の好きなゲームに熱中して楽しんでいました。



キンボールで遊ぶ子供たち

あぶた縄文の日に記念イベント開催

5月13日の「あぶた縄文の日」に、町教育委員会が主催する「勾玉(まがたま)」作りを中心とした記念イベントが開催され、約20名が参加し、入江・高砂貝塚に対する理解を深めました。

5月13日に、入江貝塚が国の史跡に指定されたことから、昨年のこの日を「あぶた縄文の日」と定め、あわせて文化事業を実施することが決定されました。

当日は、入江・高砂貝塚の説明や縄文時代の暮らしなどを学ぶ子ども達を対象とした「縄文



勾玉(まがたま)作りを楽しむ子供たち

キッズ」の結成など、勾玉作りと合わせて行われました。

まちなのわだい

協会病院で羊2頭毛刈り 患者らの心をなごます

洞爺協会病院で5月20日、飼育している羊2頭の毛刈りが行われ、患者らは、ふかふか



気持ちよさそうにおとなしく刈られる羊

の毛が刈り取られる羊の姿を楽しそうに眺めていました。

同病院では、昨年5月に八雲町の牧場からアニマルセラピー用に羊2頭をもらい受け、飼育を開始。名前も雄はバロン、雌はモモと「メーメー(命名)」し、患者や職員に可愛いがられてきました。

この日は、2頭が生まれた牧場主の工藤孝夫さんが、バリカンを使って刈上げ、2頭の羊は、やっと厚い衣を脱ぎ去ることができて、本当に気持ちよさそうでした。

「大きく育てね」 ヒメマス等の稚魚放流

5月17日洞爺湖温泉小学校の児童が洞爺湖漁業協同組合



稚魚を放流する児童たち

(篠原功組合長)の皆さんの指導の下、月浦の湖岸から、ヒメマスとサクラマスの稚魚約10万匹を放流しました。

この日参加したのは、温泉小学校の1年生と2年生の合わせて16人。

児童たちは、昨年の9月から10月頃に採卵して育ててきた5cmほどの稚魚を、バケツからプラスチックのカップに移し替え、「おおきくなつてね」と願いをこめて、そつと放流。4年後の成魚になって帰ってくるのを楽しみにしていました。